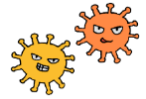




## 今すぐもとう Myマスク



### 守ろう！あなたも環境も

新型コロナウイルス感染症の拡大により、使い捨てマスク・使い捨て手袋・ケータリング用の食品トレイなどのいわゆる「コロナごみ」が急増しています。これらの多くはプラスチック製であり、焼却による二酸化炭素の排出、海などの環境汚染につながります。その中でもマスクは生活に欠かせないものとなり、毎日大量の使い捨てマスクが廃棄されています。コロナ禍でも環境問題は止まってくれません。私たち一人一人の環境に対する意識が大切です！

#### 1 マスクごみによる環境負荷を知ろう！

近頃、使い捨てマスクのごみによる環境汚染が問題となっています。ある自然保護団体によれば香港や日本の沿岸で使用済みのマスクが漂着したと報告されました。漂着したマスクによるコロナ感染リスクは低いものの、マスク由来のマイクロプラスチックによる海洋生態系の破壊が懸念されています。積極的に My マスクを持つことで使い捨てマスクの使用を控えることも環境を守る第一歩です。

参考：RIEF 一般社団法人環境金融研究機構 <https://rief-jp.org/ct12/103332>



20-20  
20-20

#### 2 布マスクのすゝめ

エコなマスクとして、何度も洗って繰り返し使える布マスクがあります。生地にコットンやシルクなど天然素材が使われているため、化学繊維でできている不織布マスクに比べて肌に優しく、また吸水性や通気性が高いためマスク内を適度な湿度に保つことができ、肌が乾燥しにくくなります。湿度を保ち、通気性も高いので菌の繁殖も防げます。柔らかい布が息で温められて冬の寒さ対策にもお勧めです。



#### 3 手作りマスクのすゝめ

マスクは私たちで作ることもできます。たしかに既製品を買うよりは時間がかかりますが、その手間を考えると、手作りマスクを大切に使えるのではないのでしょうか。これこそ ECO です！手作りのいいところは他にもあります。まず、自分の顔にぴったり合った大きさのマスクをつけられます。また、マスクの生地や柄、色を自分で選べるのでバリエーションも豊富です。その日の服やメイクに合わせられますね！お気に入りのマスクを大切に使いましょう。



作：吉田優芽

【作り方】筆者が作成した右のマスクはこちらのサイトを参考にしました：<https://smileworks25.com/3722/>

#### 4 マスクの使い分けのすゝめ

マスクの素材の違いによるウイルス飛沫感染リスクを研究した理化学研究所によると、不織布のマスクはウレタンや布より、飛沫を外に漏らさない性能が高い一方、通気性が悪く、装着時に息がしづらい傾向があり、布マスクは不織布やウレタンに比べて通気性が良く、性能もウレタンより良いものがあるとのことでした。通常のオフィスに行くだけなら息がしやすい布マスク、人が集まり密になる空間では不織布マスク、など性能だけではなく、通気性や費用対効果を考えて使い分けることも提案されています。

参考：産経新聞 2020.11.26 <https://www.sankei.com/economy/news/201126/ecn2011260023-n1.html>

マスク着用はコロナ禍での「新しい生活様式」で最も当たり前となったことだと思います。マスクが店頭から消え、簡単に手に入らないこともありました。My マスクを持つことは、ごみを減らすだけでなく必要な人が使えることにつながるはずです。自分に合ったマスクで健康と環境への意識を高めましょう。

環境 ISO 学生委員会 池 豪介 高橋 稜賀 辻 尚樹 吉田 優芽

